

# 温室効果ガス削減に向けた取り組み

## 1. 取り組む姿勢

西東京市においては、温室効果ガス削減のために取り組むために、そのほとんどを占める二酸化炭素に焦点を当て、できるところから地球温暖化対策に取り組んでいきます。市民、事業者及び市の各主体が、日常生活や事業活動のライフサイクルを通じて二酸化炭素を減らしていく低炭素型のライフスタイルやまちづくりを推進します。

### 家庭の取り組みを 促進します

西東京市では、民生家庭部門からの排出量の伸びと割合がともに大きいことから、家庭での対策を広げていくことが不可欠です。

そこでまず、できるところからの取り組みとして、日常生活での省エネへの配慮に取り組めます。そのうえで、家電製品や住宅等の買い替え、新規購入の際には、より省エネ型のものを選びます。さらに、西東京市の農園等を活用した地産地消や、家庭の緑を増やすなど、快適な暮らしの実現を目指します。

### 事業所の取り組みを 促進します

事業所からの温室効果ガス排出量の増加が予想されており、事業所での対策もまた重要です。

自らの事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を把握し、省エネに配慮した事業活動に取り組めます。また、機器・設備等の更新・導入の際の低 CO<sub>2</sub> と低コストの実現、さらに快適な暮らしや社会づくりへの貢献を目指します。

### 市は、率先して 温暖化対策に取り組めます

温暖化防止のための施策を策定し実行します。

市役所では、一事業者、一消費者の立場から、率先して地球温暖化対策に取り組めます。

また、行政の施策の策定及び実施にあたり、低炭素型まちづくりへの配慮を織り込み、市全域での CO<sub>2</sub> 削減を推進します。

### 協働による取り組みを広げます

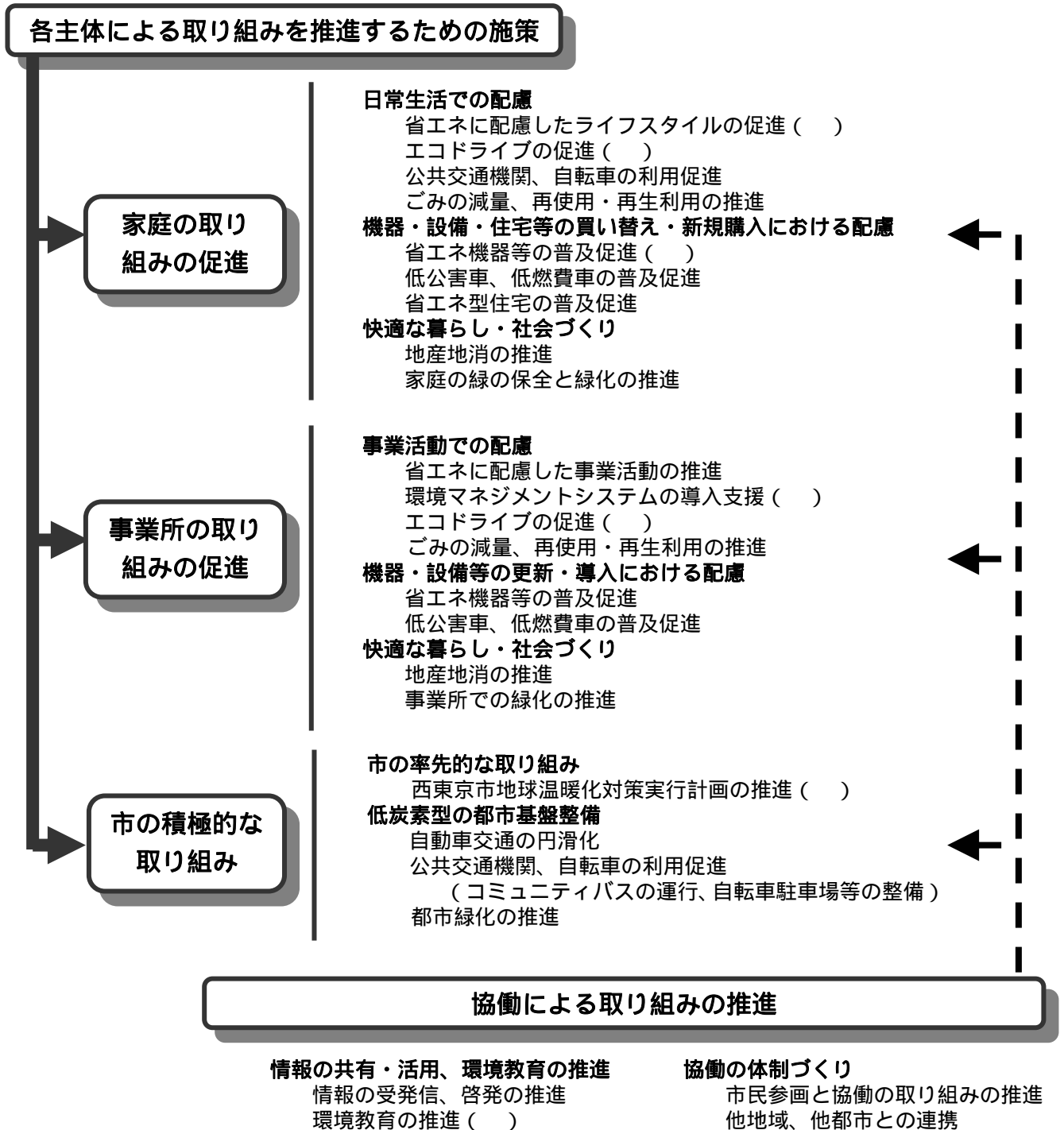
地球温暖化対策は、各主体が互いに知恵を出し合い、協力しながら、地域で協働して取り組むことで、より大きな力となりえます。

そのために、エコプラザ西東京を拠点とした情報の共有・活用、環境教育の推進などにより、市民の地球温暖化に対する関心・理解を深めます。さらに、参加者を拡大し、協働により取り組みを広げるための場づくりやネットワークづくり、人づくりを進めます。

## 2. 施策の体系

第 章に示した削減目標の達成に向けた、施策の体系は、次のとおりです。

なお、印のついているものは、重点施策（次ページ以降参照）として位置付けています。



### 3. 各主体による取り組みを推進するための施策

市民、事業者及び市の各主体による取り組みを推進するための施策は、次のとおりです。

#### (1) 協働による取り組みの推進

##### 情報の共有・活用、環境教育の推進

##### 情報の受発信、啓発の推進

市民や事業者の取り組みを支援するため、市は、地球温暖化に対する関心・理解を深め、対策手法や対策のための支援制度などについて、エコプラザ西東京を活用し、ホームページや広報等を通じて、情報発信や啓発を積極的に行います。また、市民等から寄せられる温暖化に関する情報を受付、蓄積し、今後の施策に反映させます。

##### 市が実施する事業

##### ・エコプラザ西東京の運営

平成 20 年に開設したエコプラザ西東京を、環境保全や環境学習の拠点施設として活用していきます。

##### ・ホームページ、広報等の運用

市のホームページや広報誌である「広報西東京」、田無庁舎・保谷庁舎の「情報公開コーナー」等を活用して、地球温暖化に関する情報を積極的に発信します。

##### ・環境白書の作成

西東京市の環境に関する施策の実施状況や環境の現況について整理した「西東京市環境白書」を毎年発行します。

##### 環境教育の推進

地球温暖化に対する関心・理解を深め、ライフスタイルや価値観の見直し、省エネルギー・省資源、ごみの減量などの具体的な行動を促すような環境教育を推進します。

< 「重点施策 4」(35 ページ) 参照 >

## 協働の体制づくり

### 協働の取り組みの推進

市民、事業者、NPO、教育機関、市などの協力・連携を通じた取り組みを促進するため、市民参画の体制を整備し、市民等から温暖化対策のアイデアや実践レポートを募集するほか、協働によるキャンペーンやセミナー、シンポジウムのための場づくり、ネットワークづくり、人づくりを通じて支援します。

#### 市が実施する事業

- ・市民参画と協働の推進のため温暖化対策地域協議会を設置
- ・環境保全活動等推進員の活動支援
- ・西東京市エコリーダー養成
- ・NPO 等との協働の推進

NPO との協働を推進することにより、多様な市民ニーズに対応するとともに、さまざまな課題の解決を図るための事業を実施します。

- ・事業者との連携による市民啓発（検討中）

### 他地域、他都市との連携

西東京市だけではなく、他都市、他地域などと連携して地球温暖化対策に取り組みます。

#### 市が実施する事業

- ・カーボン・オフセット\*の可能性について検討（検討中）

姉妹都市である福島県下郷町や、友好都市である千葉県勝浦市、山梨県北杜市などと連携して、カーボン・オフセット等の取り組みができないか、検討を進めます。

## ( 2 ) 家庭への支援

### 日常生活での配慮

#### 省エネに配慮したライフスタイルの促進

一人ひとりが、ライフスタイルを見直し、具体的な行動を実行できるよう、情報提供や啓発、体験の機会の提供などの支援を行います。

< 「重点施策1」(29ページ)参照 >

#### エコドライブの促進

エコドライブの普及を促進するため、情報提供や啓発を行います。

< 「重点施策3」(34ページ)参照 >

#### 公共交通機関、自転車の利用促進

公共交通機関を充実させたり、自転車の利用環境を向上させたりすることで、自動車による移動から公共交通機関や自転車への転換を促進します。

##### 市が実施する事業

##### ・コミュニティバス(はなバス)運行

市内において、コミュニティバス(はなバス)5路線を運行します。

##### ・自転車利用の促進

自転車専用道や専用レーンの整備を行います(検討中)。また、通勤・通学等の自転車利用者のための自転車駐車を整備します。

#### ごみの減量、再使用・再利用の推進

ごみの排出とその焼却にかかる二酸化炭素排出量を削減するため、ごみの減量、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)を推進します。

#### 市が実施する事業

- ・廃棄物減量・再資源化の啓発

ごみの排出ルールや分別に関するパンフレットを配布します。

- ・りさいくる市の開催

田無・保谷両庁舎において「りさいくる市」を開催し、不用品等の再使用・再生利用を図ります。

- ・廃食油の回収
- ・生ごみ堆肥化機器購入の助成をします。

#### 削減効果

- ・一般廃棄物処理基本計画によるごみの減量化の推進

3.6 千 t-CO<sub>2</sub>

### 機器・設備・住宅等の買い替え、新規購入

#### 省エネ機器等の普及促進

省エネ家電のほか、電球型蛍光灯、太陽光発電、太陽熱温水器、高効率給湯器といった省エネ機器の普及を促進します。

< 「重点施策2」(32 ページ) 参照 >

#### 低公害車、低燃費車の普及促進

ハイブリッド自動車、電気自動車、CNG自動車など、二酸化炭素排出量の少ない低公害車や低燃費車の普及を促進するため、自動車の買い替え時に役立つ情報提供を行います。

#### 市が実施する事業

- ・情報提供（検討中）

各種イベントで燃料電池自動車を始めとした低燃費車の展示を行うなどの情報提供を行います。

#### 削減効果

- ・低公害車、低燃費車の普及（家庭）

自家用車 9,400 台<sup>1</sup> × 一台当たり削減量 200kg-CO<sub>2</sub><sup>2</sup> = 約 - 2.0 千 t-CO<sub>2</sub>

1 実施車両数は、アンケート結果をもとに想定。

2 一台当たり削減量は、京都議定書目標達成計画により設定。

## 省エネ型住宅の普及促進

近年、断熱性能等に優れた省エネ型住宅の普及が進んでいます。住宅の建て替えの際に、省エネ型住宅にするよう、省エネ型住宅に関する情報を積極的に提供します。

また、既存の住宅については、断熱性の向上のための樹脂サッシ、複層ガラス等の導入を促します。

### 市が実施する事業

#### ・情報提供（検討中）

各種イベントや講座において、省エネ型住宅に関する情報提供を行います。

### 削減効果

#### ・省エネ型住宅の普及

$$1,000 \text{ 戸}^1 \times \text{一戸当り削減量 } 520 \text{ kg-CO}_2^2 = \text{約} - 0.5 \text{ 千 t-CO}_2$$

1 実施住宅数は、新築住宅の約 50%を想定。

2 一戸当り削減量は、京都議定書目標達成計画により設定。

#### ・既存住宅の省エネルギー化

$$4,900 \text{ 戸}^3 \times \text{一戸当り削減量 } 24 \text{ kg-CO}_2^4 = \text{約} - 0.1 \text{ 千 t-CO}_2$$

3 実施住宅数は、全世帯の約 5%を想定。

4 一戸当り削減量は、家庭の省エネ大事典により設定。

## 快適な暮らし・社会づくり

### 地産地消の推進

国産の農作物や地元農産物を選択・利用することは、食物の輸送に係るエネルギー消費の削減に寄与します。そこで、地元農産物の利用や地産地消に対する関心・理解を深めるための情報提供を行い、体験の機会を増やします。

### 市が実施する事業

#### ・家族農園の利用あっせん

市内の家族農園の利用のあっせんを行います。

#### ・市民農園の運営

市内の市民農園の運営を行います。

#### ・体験農園の設置

農家の方から指導を受けながら農作物を栽培する体験農園の設置を行います。

#### ・農家と市民の交流促進

市民と農家が交流できるようなさまざまなプログラムを実施します。(平成 20 年度は農業景観散策、市内で小麦作り食育事業を実施)

## 家庭の緑の保全と緑化の推進

緑は、自然環境や景観の保全に役立つとともに、ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の吸収などにも寄与します。

そこで、私有地の樹林地・樹木、都市農地などを保全します。また、敷地内の植栽、屋上緑化、壁面緑化などの取り組みを促進します。

### 市が実施する事業

- ・生産緑地の指定・保全

市内の生産緑地の指定および保全を行います。

- ・保存樹、保存林、保存生垣の指定および補助金の交付

市内のみどりの保存のため、貴重な樹木等の維持管理に対して補助等を行います。

- ・緑地保全地区樹林地の保全

山林を保全し、みどりあふれる都市環境を確保するため、山林保全指定を行い、固定資産税および都市計画税の減免を行います。

- ・生垣設置助成

ブロック塀から生垣につくり替える、あるいは新たに生垣をつくる方への造成費の補助を行います。

- ・苗木配布

樹木の苗木を自宅に植えて育ててもらい、市内により多くのみどりを増やすため、市民まつりにおいて市民に無料で苗木を配布します。

- ・緑化に関する相談

- ・グリーンバンク制度の運用



### (3) 事業者への支援

#### 事業活動での配慮

##### 省エネに配慮した事業活動の推進

省エネルギーや地球温暖化対策に取り組んでいる事業所に対して、地域での取り組み及び地球環境への貢献をしていることを積極的に評価するよう支援します。

###### 市が実施する事業

- ・表彰制度（検討中）

環境に配慮した活動をしている事業所への表彰を行います。

##### 環境マネジメントシステム\*の導入支援

事業者による環境マネジメントシステムの認証取得に対する支援を行います。

< 「重点施策5」(36ページ)参照 >

##### エコドライブの促進

エコドライブの普及を促進するため、情報提供や啓発を行います。

< 「重点施策3」(34ページ)参照 >

##### ごみの減量、再使用・再利用の推進

ごみの排出とその焼却にかかる二酸化炭素排出量を削減するため、ごみの減量、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を推進します。

###### 市が実施する事業

- ・廃棄物減量・再資源化の啓発

ごみの排出ルールや分別に関するパンフレットを配布します。

- ・リサイクルショップの運営
- ・りさいくる市の開催

田無・保谷両庁舎において「りさいくる市」を開催し、不用品等の再使用・再利用を図ります。

- ・廃食油の回収
- ・生ごみ堆肥化機器購入の助成をします。

#### 削減効果

- ・一般廃棄物処理基本計画によるごみの減量化の推進  
3.6 千 t-CO<sub>2</sub>【再掲】

## 機器・設備等の更新・導入

### 省エネ機器等の普及促進

電球型蛍光ランプや高効率給湯器といった省エネ機器の普及を促進します。

#### 市が実施する事業

- ・情報提供（検討中）  
各種イベントで燃料電池自動車を始めとした低燃費車の展示を行うなどの情報提供を行います。

#### 削減効果

- ・省エネ機器の普及（太陽熱温水器・高効率給湯器のいずれかの導入）  
 $1,900 \text{ 事業所}^1 \times \text{一事業所当り削減量 } 473 \text{ kg-CO}_2^2 = \text{約 } -0.9 \text{ 千 t-CO}_2$ 
  - 1 実施事業所数は、アンケート結果をもとに想定。
  - 2 一事業所当り削減量は、チーム・マイナス 6% ホームページより設定。

### 低公害車、低燃費車の普及促進

ハイブリッド自動車、電気自動車、CNG自動車など、二酸化炭素排出量の少ない低公害車や低燃費車の普及を促進するため、自動車の買い替え時に役立つ情報提供を行います。

#### 市が実施する事業

- ・情報提供（検討中）  
各種イベントで燃料電池自動車を始めとした低燃費車の展示を行うなどの情報提供を行います。

#### 削減効果

- ・低公害車、低燃費車の普及（事業所）  
 $\text{営業用車 } 5,800 \text{ 台}^1 \times \text{一台当り削減量 } 200 \text{ kg-CO}_2^2 = \text{約 } -1.2 \text{ 千 t-CO}_2$ 
  - 1 実施車両数は、アンケート結果をもとに想定。
  - 2 一台当り削減量は、京都議定書目標達成計画により設定。

### 地産地消の推進

食品の製造・販売に携わる事業者、農業者による、国産農作物や地元農産物の利用を促進する取り組みを支援します。

#### 市が実施する事業

- ・体験農園の設置

農家の方から指導を受けながら農作物を栽培する体験農園を設置します。

- ・農家と市民の交流促進

市民と農家が交流できるようなさまざまなプログラムを実施します。(平成20年度は農業景観散策、市内で小麦作り食育事業を実施)

### 事業所での緑化の推進

ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の吸収に役立つ緑を増やすため、事業所の敷地内の植栽、屋上緑化、壁面緑化などの取り組みを促進します。

#### 市が実施する事業

- ・生垣設置助成

ブロック塀から生垣につくり替える、あるいは新たに生垣をつくる方への造成費の補助を行います。

- ・緑化に関する相談

- ・グリーンバンク制度の運用

## (4) 市の取り組み

### 市の率先的な取り組み

#### 西東京市地球温暖化対策実行計画の推進

西東京市地球温暖化対策実行計画に基づき、職員の環境配慮行動、事務・事業における対策に率先して取り組みます。

< 「重点施策6」(37ページ)参照 >

### 低炭素型の都市基盤整備

#### 自動車交通の円滑化

交通渋滞を緩和することにより、自動車走行に伴う燃料消費が削減されます。そこで、自動車交通の円滑化のための道路ネットワークの形成を図ります。

##### 市が実施する事業

- ・道路ネットワークの形成（環境基本計画より。検討中）

幹線道路は、自動車交通の流れを円滑にすることから、必要性を十分に検討し、適切に整備を行っていきます。

また、鉄道の踏切や幹線道路の交差点などにおいては、円滑な交通の流れに重大な影響が及んでいる場合には、関係機関と連携しながら対応を進めることにより、交通渋滞の緩和などを図っていきます。

#### 公共交通機関、自転車の利用促進

公共交通機関を充実させたり、自転車の利用環境を向上させたりすることで、自動車による移動から公共交通機関や自転車への転換を促進します。

##### 市が実施する事業

- ・コミュニティバス（はなバス）運行

市内において、コミュニティバス（はなバス）5路線を運行します。

- ・自転車専用道や専用レーンを整備します（検討中）。
- ・自転車駐車場の設置

通勤・通学等の自転車利用者のための自転車駐車場を整備します。

## 都市緑化の推進

ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の吸収に役立つ緑を増やすため、市民協働により公園の緑を維持・充実します。

### 市が実施する事業

#### ・公園の維持管理

市民協働により、既存の公園の緑をふやし、守り、育てます。また、市民の憩いの場である公園を新たに設置するとともに、設置の際に緑が多い設計に努めます。

## 4. 重点施策

重点施策は、前節で示した施策体系のうち、削減効果が大きいもの、すぐにでも始められるもの、基本方針に合致しているものといった視点から設定したもので、優先的に進めていきます。

### 重点施策

番号	分類	施策名
重点施策 1	家庭への支援	省エネに配慮したライフスタイルの促進
重点施策 2	家庭への支援	省エネ機器等の普及促進
重点施策 3	家庭への支援・事業者への支援	エコドライブの促進
重点施策 4	家庭への支援	環境教育の推進
重点施策 5	事業者への支援	環境マネジメントシステムの導入支援
重点施策 6	市の取り組み	西東京市地球温暖化対策実行計画の推進

### 重点施策 1：省エネに配慮したライフスタイルの促進

家庭での住まいや食事、買い物、移動などの場面で、ライフサイクルを通じて省エネルギーに取り組むことができます。市民一人ひとりが、ライフスタイルを見直し、具体的な行動を実行できるよう、情報提供や啓発、体験の機会の提供などの支援を行います。

#### 【 市が実施する事業 】

- ・環境家計簿の作成

環境家計簿を作成し、ホームページ等を通じて市民に配布します。

#### スケジュール

年度	2010	2011	2012	2013	2014 以降
取り組み	検討	配布	継続	継続	継続

#### 行動目標

指標	実績値	年度	目標値	年度
環境家計簿の配布数	-	-	10,000	2020

#### 削減効果

- ・環境家計簿の普及を通じて、家庭でできる取り組みの実施

$$\text{家庭 } 35,500 \text{ 世帯}^1 \times \text{一世帯当り削減量 } 425.7\text{kg-CO}_2^2 = \text{約 } -15.1 \text{ 千 t-CO}_2$$

1 実施世帯数は、アンケート結果をもとに想定。

2 一世帯当り削減量は、家庭の省エネ大事典により設定。

## 【 家庭でできる取り組み 】

家庭でできる地球温暖化対策のための取り組みは、地球温暖化防止に寄与するとともに、家計の節約にも繋がります。できるものから取り組んでいきましょう。

(「家庭の省エネ大事典」((財)省エネルギーセンター)より抜粋。)

### [ エアコンの使用 ]

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
冷房の設定温度を 26 から 28 にする。	12.4	670
冷房の使用時間を 1 時間減らす。	7.7	410
暖房の設定温度を 22 から 20 にする。	21.8	1,170
暖房の使用時間を 1 時間減らす。	16.7	900
フィルターを月に 1 回か 2 回清掃する。	13.1	700

### 【 照明 】

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
点灯時間を短くする。(白熱電球の場合)	8.1	430

### 【 テレビ・パソコン 】

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
テレビを見ないときは消す。(液晶の場合)	6.2	330
テレビの画面を明るくしすぎないようにする。	12.3	660
テレビの音量は不必要に大きくしない。	1.0	50
1 日 1 時間パソコン利用を減らす。 (デスクトップ型パソコンの場合)	12.9	690
パソコンの電源オプションを見直す。 (デスクトップ型パソコンの場合)	5.2	280

### [ 料理 ]

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
冷蔵庫の扉を開けている時間を短くする。	2.5	130
冷蔵庫の無駄な開閉はしない。	4.3	230
冷蔵庫を壁から適切な間隔で設置する。	18.5	990
冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない。	18.0	960
冷蔵庫の設定温度を適切にする。	25.3	1,360

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する。 (ブロッコリー、カボチャなどの場合)	15.0	1,030
ガスコンロの炎をなべ底からはみ出さないように調節する。	5.5	360
食器を洗うときガス給湯器の温度を低く設定する。	20.5	1,320
電気ポットを長時間使用しない時はプラグを抜く。	44.1	2,360

[ 風呂・トイレ ]

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
シャワーの使用時間を 1 日 1 分短くする。	29.7	2,920
入浴は間隔をあけずに入る。	88.9	5,730
使わないときは温水洗浄便座のフタを閉める。	14.3	770
温水洗浄便座の便座暖房の温度を低めに設定する。	10.8	580
洗浄水の温度を低めにする。	5.7	300

【 洗濯・掃除 】

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
洗濯物はまとめ洗いをする。	2.4	3,950
部屋を片づけてから掃除機をかける。	2.2	120
集塵パックは適宜取り替える。	0.6	30

これらの取り組みをすべて行ったとすると、年間で 425.7kg-CO<sub>2</sub> の削減となります。これは、西東京市において、1 世帯が排出している二酸化炭素の約 18% に相当します。



## 重点施策 2：省エネ機器等の普及促進

家庭で使用されるエアコン、冷蔵庫、テレビなどは、省エネ性能に優れた製品が開発され、流通が進んでいます。省エネ家電のほか、電球型蛍光灯ランプ、太陽光発電、太陽熱温水器、高効率給湯器といった省エネ機器の普及を促進します。

また、これらの機器を長期に渡り使用することが省エネに寄与するところがあることから、省エネラベル\*の紹介をしながら、賢い消費行動を促進します。

### 省エネ機器等の導入による効果

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
白熱電球を電球形蛍光灯ランプに取り替える。	42	2,370
古いエアコンを省エネタイプに買い替える。	97	5,470
古い冷蔵庫を省エネタイプに買い替える。	123	6,940
太陽光発電を新規に設置する。	624	35,200
太陽熱利用温水器を新規に設置する。	380	21,440
給湯器を高効率給湯機(CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ*型)に買い替える。	565	40,360

資料：チーム・マイナス6%

### 【市が実施する事業】

- ・太陽エネルギー利用機器の助成

太陽光発電システム\*等の省エネルギー機器を市民が購入する際に、その費用の一部を助成します。

### 助成機器と費用

機器	費用
太陽光発電システム	調整中
太陽熱ソーラーシステム	調整中
太陽熱温水器	調整中

### スケジュール

年度	2010	2011	2012	2013	2014以降
取り組み	調整中	調整中	調整中	調整中	調整中

## 行動目標

指標	実績値	年度	目標値	年度
太陽光発電システムの導入世帯			調整中	2020
太陽熱ソーラーシステムの導入世帯	-	-	調整中	2020
太陽熱温水器の導入世帯			調整中	2020

## 削減効果

- ・省エネ機器の普及（省エネ型の電球型蛍光灯、エアコン、冷蔵庫の導入）

$$\text{家庭 } 31,000 \text{ 世帯}^1 \times \text{一世帯当り削減量 } 262\text{kg-CO}_2^2 = \text{約 } - 8.1 \text{ 千 t-CO}_2$$

- ・省エネ機器の普及（太陽光発電、太陽熱温水器・高効率給湯器のいずれかの導入）

$$\text{家庭 } 25,000 \text{ 世帯}^1 \times \text{一世帯当り削減量 } 1,047\text{kg-CO}_2^2 = \text{約 } - 27.9 \text{ 千 t-CO}_2$$

1 実施世帯数は、アンケート結果をもとに想定。

2 一世帯当り削減量は、チーム・マイナス 6% ホームページより設定。

## 重点施策 3：エコドライブの促進

自動車を低燃費車に変えるだけでなく、今使っている自動車の運転方法を改善するだけでも、二酸化炭素排出量を大きく減らすことができます。

自家用車や営業用車におけるエコドライブの普及を促進するため、情報提供や啓発を行います。

### 【市が実施する事業】

#### ・エコドライブの啓発

エコドライブの講座を開催したり、教習所などと協力してエコドライブの啓発を行うなどの検討を行います。

#### スケジュール

年度	2010	2011	2012	2013	2014 以降
取り組み	検討	啓発	継続	継続	継続

#### 行動目標

指標	実績値	年度	目標値	年度
エコドライブに関する講座の開催数	1	2008	調整中	2020

#### 削減効果

##### ・エコドライブの実施（家庭）

$$\text{自家用車 } 3,100 \text{ 台}^1 \times \text{一台当たり削減量 } 200 \text{ kg-CO}_2^2 = \text{約 } -0.7 \text{ 千 t-CO}_2$$

##### ・エコドライブの実施（事業所）

$$\text{営業用車 } 5,200 \text{ 台}^1 \times \text{一台当たり削減量 } 200 \text{ kg-CO}_2^2 = \text{約 } -1.2 \text{ 千 t-CO}_2$$

1 実施車両数は、アンケート結果をもとに想定。

2 一台当たり削減量は、京都議定書目標達成計画により設定

#### エコドライブによる効果

取り組み	年間の削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間の節約金額 (円)
アイドリングを5分短くする。	40.2	2,360
発進時にふんわりアクセル「eスタート*」をする。	194.0	11,370
加速の少ない運転をする。	68.0	3,980

資料：家庭の省エネ大事典（（財）省エネルギーセンター）

e スタートについては用語説明を参照

## 重点施策 4：環境教育の推進

環境教育のテーマのなかでも地球温暖化は、子どもから大人まですべての人々が関わりを持つ重要課題といえます。そのため、小・中学校、高等学校、大学などの教育機関と連携し、地球温暖化に対する関心・理解を深め、ライフスタイルや価値観の見直し、省エネルギー・省資源、ごみの減量などの具体的な行動を促すような環境教育を推進します。

### 【 市が実施する事業 】

#### ・みどりのカーテン

市内の小学校に対し、みどりのカーテンを実施します。(平成 20 年度時点で 10 校)

#### ・校庭の芝生化

市内の小学校の校庭の芝生化を実施します。

#### ・環境読本の作成・活用

西東京市の環境について、自発的な環境保全活動を促進するとともに、子どもの頃から環境意識を高めるため、西東京市の環境についてまとめた「西東京市の環境」を小学 5 年生に配布します。

#### ・大学との相互協定に基づく事業の推進

市内の武蔵野大学や東京大学農学部大学院付属農場と連携し、まちづくりを進めるために、相互協力に関する協定に基づき、人事交流や人材育成、生涯学習の推進に取り組みます。

#### ・環境講演会の開催

市民を対象とした環境講演会や講座を開催します。

#### ・地球温暖化防止シンポジウムの開催

### スケジュール

	2010	2011	2012	2013	2014 以降
みどりのカーテン	継続	継続	継続	継続	継続
校庭の芝生化	継続	継続	継続	継続	継続
環境読本の作成・活用	継続	継続	継続	継続	継続
大学との相互協定に基づく事業の推進	継続	継続	継続	継続	継続
環境講演会の開催	継続	継続	継続	継続	継続
地球温暖化防止シンポジウムの開催	継続	継続	継続	継続	継続

行動目標

指標	実績値	年度	目標値	年度
みどりのカーテン実施校数	10	2008	調整中	2020
校庭への芝生の導入校数	1	2008	調整中	2020
環境講演会の開催数	月 2 回	2008	調整中	2020
大学との相互協力事業	14 件	2006	調整中	2020
地球温暖化防止シンポジウムの開催数	年 1 回	2007	調整中	2020

削減効果

-

## 重点施策 5 : 環境マネジメントシステムの導入支援

事業所において事業活動を通じた環境負荷の削減に向け、継続的に改善していく取り組みを普及するため、環境マネジメントシステムの普及を図ります。

そのため、事業者による環境マネジメントシステムの認証取得に対する支援を行います。

【 市が実施する事業 】

・講師派遣

エコアクション 21\*を取得したい事業者には、無料で講師派遣を行い、取得の支援を行います。

エコアクション 21 については用語解説を参照

スケジュール

年度	2010	2011	2012	2013	2014 以降
取り組み	継続	継続	継続	継続	継続

行動目標

指標	実績値	年度	目標値	年度
エコアクション 21 認証取得社数	-	-	調整中	2020

削減効果

-

## 重点施策 6：西東京市地球温暖化対策実行計画の推進

市では、西東京市地球温暖化対策実行計画（地球温暖化対策の推進に関する法律\*第 21 条に基づき、市の事務・事業により排出される温室効果ガスの抑制のための実行計画）に基づき、職員的环境配慮行動、事務・事業における対策に率先して取り組みます。

なお、平成 20 年 3 月に策定した同計画の後期実行計画では、「平成 22 年度における施設の温室効果ガス排出量を、平成 14 年度比 11.4%削減する」という目標を掲げています。

### 【 市が実施する事業 】

- ・西東京市地球温暖化対策実行計画の推進

#### スケジュール

年度	2010	2011	2012	2013	2014 以降
取り組み	第 2 次実行 計画策定	推進	継続	継続	継続

#### 行動目標

2010 年度における温室効果ガス排出量を、2002 年度比 8.92%削減する。

指標	実績値	年度	目標値	年度
温室効果ガス排出量	9,644t-CO <sub>2</sub>	2002	調整中	2010
	8,469t-CO <sub>2</sub>	2006		

#### 削減効果

- ・市の率先実行（西東京市地球温暖化対策実行計画に基づく対策の推進）

0.315 千 t-CO<sub>2</sub>

2013 年度以降は、第 2 次西東京市地球温暖化対策実行計画で掲げる目標に基づき、さらなる削減を図ります。